

令和7年度放課後等デイサービス 保護者等向け評価アンケート 実施報告

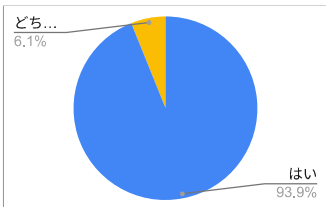
1. 実施概要

実施事業者/事業所： 株式会社Kaien ティーンズ川崎
実施期間： 令和7年10月1日～10月31日
回答者： 放課後等デイサービス利用者保護者
回答者数： 49 名
回答率： 69.0 %

2. 回答結果

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。

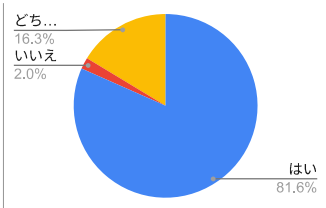
はい 46 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 3 名



※①に関するご意見があればご記入ください

②職員の配置数や専門性は適切と感じられますか。

はい 40 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 8 名

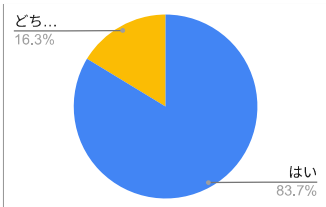


※②に関するご意見があればご記入ください

本人特性をよく理解し柔軟に対応してくれていると思いますので、今後もお世話になりたいです。
メールでの活動報告をいただきますが、子供の様子をよく見てくれるスタッフと、あまり見てくれないと感じるスタッフがいます。
初めの頃と、先生も変わっていくので、今は専門性がどの程度わかっているのか、全ての先生がわかっているのか、よくわかりません
YouTubeを観る時間ではなく、専門性のある関わりを期待したい。
療育の知識があったとしても、効果的な子供への指導ができない。

③事業所の設備等は、特性に応じた配慮がなされていますか。

はい 41 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 8 名

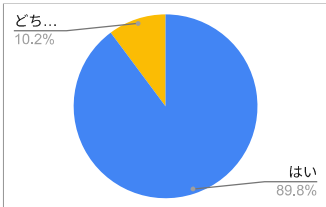


※③に関するご意見があればご記入ください

スタッフはいいのですが、家から遠いため通うのが本人にとってストレスになることもあるのが懸念点です。
イスが重くて、使いにくい。座りにくい。

④子どもと保護者のニーズや利用終了後を見据えた課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていますか。

はい 44 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 5 名

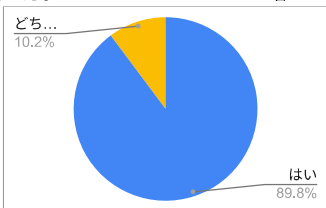


※④に関するご意見があればご記入ください

利用終了後の話は、あまりしていないので、自分で調べて行こうと思っています。
こちらの希望と意見を反映して作成してくれた。

⑤プログラムは定期的に見直されていると感じていますか。

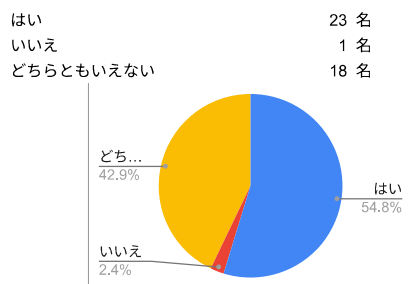
はい 44 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 5 名



※⑤に関するご意見があればご記入ください

個別支援計画の見直しの時に、面談があるので、先生と相談する事が出来るので。

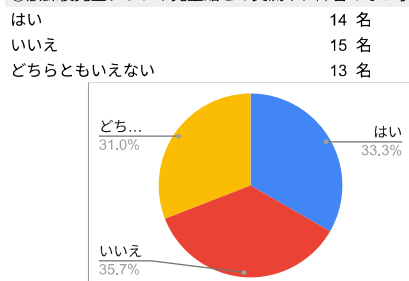
⑥ ティーンズ では地域を問わず同年代のお子さんと双方向に関ることができるオンライン講座をプログラムとして提供しています。このプログラムに内容に満足していますか。



※⑥に関するご意見があればご記入ください

まだ利用した事ありませんし、知らなかったです。
楽しく参加させていただいています。チャットが利用できるのも、良さそうです。

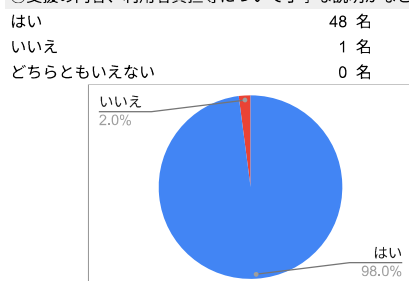
⑦放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はありますか。



※⑦に関するご意見があればご記入ください

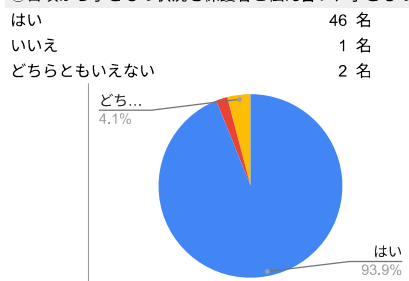
分かりません
学校くらいです。
本人が交流したいと考えていない

⑧支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。



※⑧に関するご意見があればご記入ください

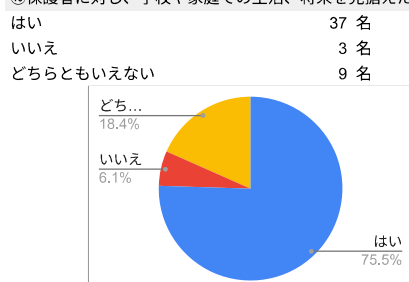
⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。



※⑨に関するご意見があればご記入ください

丁寧にフィードバックしていただけるので、大変満足です。
主に面談の時ですが、希望すれば話せるのでは、と思います。
⑧⑨とも、親と先生の直接対話、授業参観の機会を増やせるとよい。

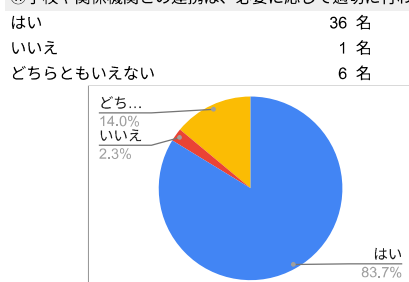
⑩保護者に対し、学校や家庭での生活、将来を見据えた助言等の支援が行われていますか。



※⑩に関するご意見があればご記入ください

最近、あまりないですが、進学前は助言もありました。
いつも親子共々、親身に相談にのってもらっており、感謝しかないです。

⑪学校や関係機関との連携は、必要に応じて適切に行われていますか。

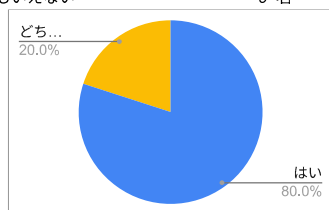


※⑪に関するご意見があればご記入ください

学校の担任の先生と連携を取っていただいています。
医師より保護者が参加しない連携は意味がないと言われた。

⑫ペアレントトレーニングやウェブセミナー、保護者会の開催は、保護者同士の連携や家族に対する支援として適切ですか。

はい 36 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 9 名

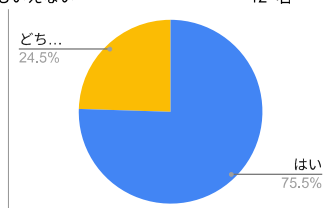


※⑫に関するご意見があればご記入ください

最近参加していないので、よくわかりませんが、以前参加した時は、適切だと感じました。
年代的に合わない場合がある
保護者同士の交流の場がペアトレ以外にもあったらいいと思います。

⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか。

はい 37 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 12 名

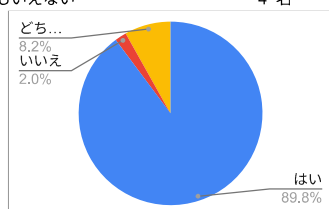


※⑬に関するご意見があればご記入ください

そのような状況になったことがない
想定がよくわからない。

⑭保護者や子どもに対しそれぞれ個別の面談やアンケートを行っているが、思いを伝える場として満足していますか。

はい 44 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 4 名

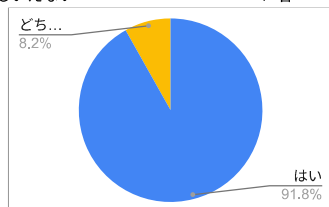


※⑭に関するご意見があればご記入ください

先生と親の相互理解に向けての機会が少ない。

⑮HP定期的に最新情報やメールを通じ、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか。

はい 45 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 4 名

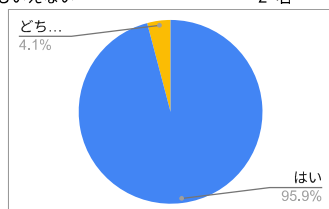


※⑮に関するご意見があればご記入ください

メールで来るので、

⑯個人情報に十分注意していますか。

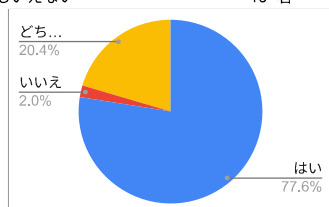
はい 47 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 2 名



※⑯に関するご意見があればご記入ください

⑰緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか。

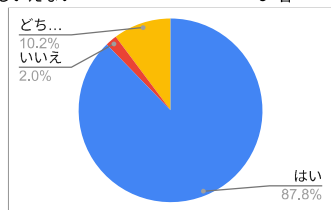
はい 38 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 10 名



※⑰に関するご意見があればご記入ください

⑮非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。

はい 43 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 5 名

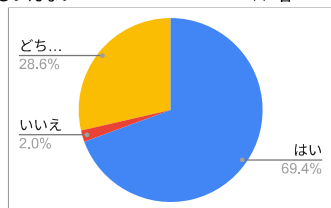


※⑮に関するご意見があればご記入ください

されているのかもしれませんが、よくわかりません。

⑯子どもは通所を楽しみにしていますか。

はい 34 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 14 名

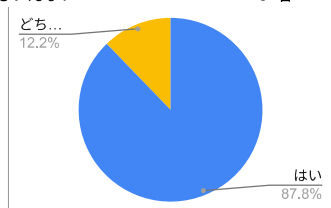


※⑯に関するご意見があればご記入ください

とても楽しみにしています。
人見知り・場所見知りあるので少しずつ慣れていってます
自宅から遠いため、もっと近いところにティーンズを作ってほしいです。
楽しく過ごしていると思います。
場合によるみたいです。
マイクラを楽しみにしてるそうです。

⑰ティーンズ にしかできないサービスが提供されていると感じますか。

はい 43 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 6 名

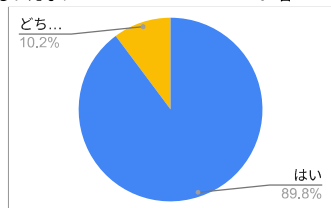


※⑰に関するご意見があればご記入ください

お仕事体験がとてもいいと思います。
いつも助けられています、ありがとうございます。
お仕事体験はよいと思う。

⑱ティーンズ の支援に満足していますか。

はい 44 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 5 名



※⑱に関するご意見があればご記入ください

親は満足していますが、本人は日によって楽しい日もあれば、楽しくなかったという時もあります。
帰りの電車で人が多いこともストレスになっているため、ティーンズだけの問題ではないようなのですが。
楽しく過ごしている様ですが、働く準備もしたいので、もう1箇所通所する放デイを増やす予定です。
高校卒業しても、娘と関わりを持ち続けて、支援していただけないか切望します。よろしく願います。
今後に期待しています。

3. 事業所考察

＜全体傾向＞

1. サービスの基盤・信頼性は非常に高い

高評価項目の集中：回答した49名の保護者様の約8割以上の項目で「はい」の回答が得られており、サービスの基盤となる運営体制と信頼性について高い評価を得ています。
運営の透明性と安全性：特に、支援内容の説明（Q8）、情報発信（Q15）、個人情報保護（Q16）、緊急時対応（Q17、Q18）といった事業所の信頼性や安全管理に関する項目で、ほぼ全ての回答者から「はい」をいただいています。
個別支援の評価：個別支援計画の作成プロセス（Q4）や、日頃の子どもの状況の共通理解（Q9）、関係機関との連携（Q11）といった個別支援の基本プロセスも高く評価されています。

2. 子ども自身の満足度が非常に高い

最重要指標の高評価：「子どもは通所を楽しみにしていますか（Q19）」の問いに対し、「はい」または「とても楽しみにしています。」が大多数を占めており、お子様が事業所の活動を肯定的に捉え、居場所として機能していることが、サービスの質の重要な裏付けとなっています。

3. 今後のサービス発展に向けた二極化・潜在的課題

職員の専門性と将来への助言（Q2、Q10）：職員の専門性や、将来を見据えた具体的な助言について「どちらともいえない」とする回答が一定数あり、個別支援の「質」と「実用性」のさらなる向上が最も強く求められている潜在的課題です

＜課題点＞

職員の専門性に対応の均一性：担当者によって子どもの状況の把握度合いやフィードバックの質にばらつきがあるのご意見があり、職員間の専門知識や支援技術の均一化が求められます。特に「利用終了後を見据えた助言（Q10）」について「どちらともいえない」が一定数あり、進路や将来の生活スキルに関するより具体的な支援策の提供が期待されています。

交流機会の不足：保護者様からペアレントトレーニング以外の保護者同士の交流の場を求める声があり、家族支援の多様化が必要です。

オンライン講座の活用推進：

オンライン講座（Q6）について「利用したことがない」「知らなかった」という回答が多く、プログラムの周知や利用への誘導が不十分であると認識しています。

＜今後の対応＞

本結果については、令和7年11月27日に事業所内会議において共有、討議を行いました。保護者の皆様へのフィードバックは12月の定期連絡にて実施するとともに、事業所内に掲示を行います。

【職員の専門性向上と連携体制の徹底】

支援の質の均一化：職員全体の専門知識を底上げするための研修を強化し、支援の質のばらつきを解消します。

具体的な課題解決への助言：面談等の機会を通じ、単なる傾聴にとどまらず、将来を見据えた進路や生活スキルに関する具体的な解決策を専門的な視点から提案します。

保護者様の要望に応え、職員と保護者の関係性を強化し、保護者様のニーズに応えるための支援体制を整えます。

情報共有の質確保： 職員の変更・異動の際は、保護者様への事前連絡と丁寧な引継ぎを徹底します。

【設備・環境の早期点検】

少数意見で指摘されたイスなどの設備を早急に点検し、安全で使いやすいものへ整備することを検討します。

【オンライン講座の積極的活用と周知】

オンライン講座の利用方法やプログラム内容の周知を、メールやLINEなどで周知し、それぞれの利用者への支援へ活用できるか検討します。